

単元名 同じ読み方の漢字

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。
(3) 同じ読み方の漢字の使い分けに関心を持ち、それらを理解しようとする。

標準的な展開例

05010115_001

【教材名】同じ読み方の漢字 (P. 78～P. 79)

【準備等】国語辞典，漢字辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 同じ読み方でも意味の違う漢字や熟語があることを理解する。 ★同じ読み方の漢字を正しく使おう。 ○教科書(P. 78)上段の六つの言葉を線でつなぐ。 ○どのようにつないだか、その理由とともに発表する。</p> <p>○教科書(P. 78)下段の問題を解く。</p> <p>○同じ訓の漢字を国語辞典を使って調べ、文を作る。</p> <p>2 同じ読み方をする漢字について、辞典で調べる。 ○教科書(P. 79)上段の二文を音読する。</p> <p>○教科書(P. 79)下段の問題から同じ読み方をする部分に線を引き、意味を調べる。 ○一つの文に同訓異字や同音異義語が二つ以上入った文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全く同じ読み方であることを確認する。 ・漢字には同じ読み方でも意味が全く違うものがあることを押さえる。 ・国語辞典で意味を確かめながら、問題を解かせる。 ・ヒントを与えたり、共通して調べる漢字を示したりしてもよい。 <p>【評】同訓異字の言葉を集める活動を通して、進んで語句を理解しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の中にも同じ音をもつが、意味が違うものがあることを確認する。 ・読み方が分からない場合は、国語辞典や漢字辞典で調べさせる。 ・自分で考えることが難しい場合は、国語辞典を引かせたり、ワープロソフトで変換させたりして、同訓異字と同音異義語を見付けさせる。 <p>【評】同訓異字、同音異義語を使った文を作る活動を通して、文や文章の中で使う「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】